



PROGRAM NOTE

2020年2月

とかす愛 クラーク桂子物語

桂子さんと会ったのは、アメリカ西海岸のサンフランシスコ郊外にあるサンロレンゾ日本人教会だった。礼拝のあと会食をすませ席の片づけにかかったとき、肌が黒く、髪の縮れた中年の婦人が目についた。日本語が流暢なのでどういう育ちのなのだろうかと思って聞いてみたら、彼女は日本生まれの日本育ちだった。

4年後（1990年）再び教会を訪問した。今度は向こうから声をかけてきた。「尾崎さんのことをお母さんが書いた本で読みました。私の母は森繁杏子（森繁久彌夫人）です。」森繁夫人は1969年にHCJB放送局を訪ねてくださり「赤道で会いましょう」の番組に出演（写真）してもらった。南米の日系人移住家族のためにご主人の映画を持って巡回慰問しておられた。ガラパゴス諸島や南極も旅行されたのでその体験談を聞かせてもらった。「お母さまが亡くなられ、お葬式で日本へ行き、その時に『おばばの手紙』という本をいただきました。そこに尾崎ファミリーのことが出てました。」「え！森繁夫人があなたのお母さん！？」
「そうなんです。私は森繁夫妻の養女です。おふたりの犠牲的な愛がなかったら今の私はいません。」驚いた私は躊躇なくマイクを差し出して桂子さんがこれまでに辿ってこられたその数奇な運命を記録させてもらった。

「私は佐世保の海軍基地で生まれました。私のような混血児はいつもいじめられて喧嘩はよくしました。育ての親は、私を可愛がってはくれましたが、ある日、私に本当の親ではないばかりか、戸籍も国籍もないことを告げられショックでした。天涯孤独の私は何とか自立しなければと思い、夢を抱いて上京することにしました。しかし、世間の目は冷く、人に騙されたり、宗教に誘われたりしても何の助けにもならず、もうこれまでと飛び込み自殺をはかりました。怖さのあまり思い切って跳んだところ線路を飛び越えてしまい失敗でした。そんなある晩、ラジオで<今晚は、森繁です>という番組が耳に入ってきたのです。聴取者の悩みの相談を聞いてくれるというので手紙を書くことにしました。」私は戦後の落とし子である混血児です。人前で堂々と歩くことができず、顔を隠して歩いています。こんなみじめなことはありません。私の父は黒人ですが顔は知りません。生みの母は、乳飲み子の私を人に預けて行方知れずです。私の育ての母も、一昨年亡くなりました。私は自分で好んで混血児に生まれてきたのではありません。肌は黒くても日本人の血は流れています。私には同情なんていりません。ただ、せめて私たちを特別な目で見ないでほしいのです。お願いですから、同じ日本人として見て欲しいのです。私はこの5月で19歳になります・・・」

切々と心情を訴えるこの手紙を森繁さんは涙ながらに読み終わりました。戦争が終わって20年、世間が東京オリンピック景気に沸いていた陰で、こんな気持ちで毎日を送る子がいることを訴えたこの番組は大きな反響を呼びました。その話をサンフランシスコの日系紙「日米時事」が記事として掲載したところ、それを読んだクラークさんというクリスチヤンの青年が深く感動して、わざわざ日本に飛んで桂子さんと直接会ったのです。そして、その二人はやがて結ばれることになりました。ところが、結婚へゴールインする寸前になって、アメリカ大使館がパスポート発行を拒否したのです。戸籍などの所定の書類が足りないというのです。戦後の混乱期のことだからといふくら説明しても駄目なので、ついに森繁夫妻は桂子さんを養女として入籍させたのですが、それでもアメリカ大使館は受け付けず、森繁夫人は丸一週間毎日大使館に通い詰めて事情を説明、さすがの大天使館もその熱心さには負けてビザは無事に発行されました。無事に渡米できた二人はサンフランシスコ郊外のサンロレンゾ日本人教会でめでたく晴れの結婚式をあげることができたのです。

インタビューを終えて圭子さんは、森繁家の養女として家族の一員に加えられたことや、クラークさんが国境を超えて愛の手を差し伸べてくれたことなど、周りの人々の愛の深さに目をうるませていました。桂子さんには3人の子供とその孫たちがいますが、名前は聖書からの名前を全員につけています。

すべての障害を乗り越えて人間的な出逢いを成立させる愛のネットワークは、広く世界の隅々にまで張りめぐらされています。神と人、そして、人と人の繋がりで触発される連鎖反応によって愛の世界は広がっているのです。

サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
2月01日	エクアドル料理ノート（8）貝焼き込みご飯	2月02日	旧約聖書：創世記（3）
2月08日	エクアドル料理ノート（9）料理用バナナ	2月09日	リストナーからの「お便り交換の時間」
2月15日	スペシャルな子供たちとともに：木藤 和子	2月16日	旧約聖書：創世記（4）
2月22日	とかす愛：クラーク圭子と森繁久彌夫妻	2月23日	旧約聖書：創世記（5）

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。（mp3形式）

放送時間：日本時間 午前7時半～8時 15410kHz (再放送) 午後8時～8時30分 15565kHz
(米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信)

*受信報告書をメールで送る場合：hcjbjapan.office@gmail.com

